



2023年12月28日

各 位

上場会社名 株式会社 岡山製紙
代表者 代表取締役社長 宮田 正樹
(コード番号 3892)
問合せ先責任者 管理本部長 加藤 理夫
(TEL 086-262-1101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年7月14日に公表した2024年5月期第2四半期累計期間の業績予想並びに2024年5月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2024年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2023年6月1日～2023年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,600	440	480	336	68.83
今回修正予想(B)	5,834	999	1,050	728	157.67
増減額(B-A)	234	559	570	392	
増減率(%)	4.2	127.2	118.9	116.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年5月期第2四半期)	5,426	286	327	225	45.12

2024年5月期通期個別業績予想数値の修正(2023年6月1日～2024年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,000	720	800	560	114.71
今回修正予想(B)	11,000	1,500	1,580	1,106	239.32
増減額(B-A)	0	780	780	546	
増減率(%)	0.0	108.3	97.5	97.5	
(ご参考)前期実績 (2023年5月期)	10,870	613	693	494	101.38

修正の理由

2024年5月期第2四半期累計期間の業績につきましては、物価上昇による消費の抑制等の影響で段ボール原紙を中心とした板紙の需要が減退し、板紙事業においては販売数量が前年同四半期比で4.4%減少しましたが、前期に実施した製品価格改定の効果等で、売上高は前年同四半期比で増収となる見込みです。利益については、原料古紙や主な燃料であるLNGの価格は高い水準にはありますが、価格改定の効果等により大きく増益となる見込みです。

また、2024年5月期通期の業績予想につきましては、基本的には第2四半期までの状況が継続するものの、板紙需要の先行きが不透明であることや、物流に関するいわゆる2024年問題で製品の運送費の上昇が見込まれること、下期に大型修繕工事が集中すること等を受け、利益率はやや下がるものと予想しております。

(注)本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上